

常念通り

白板地区公民館
館報編集委員会
☎(35) 7740

乗鞍ウォーキング

8月26日(水)のウォーキング、前回は降雨のためリベンジです。

当日の天気は最高、8名の参加で出発、外出自粛や熱中症アラートで久しぶりのバス研修です。車窓からヤナギラシやナナカマドを楽しみ、ヘヤピンの登りがきつい山道をロードレース自転車でも必死に登る人を追い抜き「畳平駐車場」に到着。降りるとさすが標高2702m、気温15度は涼しさを通り越して寒いくらいでした。青空で景色は最高、ただお花畑は豪雨時の落石で入ることができないので残念でしたが通行可能な道を散策



7月8日の豪雨による落石で木道が破壊され通行止め



コマクサ

すると色とりどりの花があり特に岩の間に隠れるように咲く、イワギキョウが可憐で可愛く、もう見られないと思っていたコマクサのピンクの花は見ごろでした。

昼食後は二手に分かれ「位ヶ原」まで歩いて下山組、体力に自信がない人はバスでの下山、歩き組は5名で出発、コースは森林の中や開けた景色のところなど変化があり最高でしたが、登山道で足元が悪くかなりハードなコースだったとのことでしたが全員無事下山しました。

久しぶりのバス研修、天候に恵まれきれいな花に心が洗われた乗鞍を胸に帰途につきました。

上高地 自然観察ウォーキング

8月18日(火) コロナと豪雨で何回か中止になった上高地、自然観察会・ウォーキングがようやく開催されました。

釜トンネルを抜けて直ぐ左に入り、釜ヶ淵堰堤を見学しました。高さ29mの積石アーチ式コンクリート砂防ダムで、国の登録有形文化財になっています。堆積した土砂の流出を防ぎ、上高地の景観と犀川流域の保全を目的に建設されましたが、新トンネルが出来てからは目に触れることもなくなりました。

7月初旬の豪雨災害の爪痕が残っていましたが、大部分

お花畑周辺で飛んでいた、尾っぽの周りが白かった鳥はホシガラス、雀のような色合いの鳥はイワヒバリです。



チングルマの綿毛

は復旧していました。大正池から、自然観察コースと明神ウォーキングコースを行きました。大正池〜田代池の散策コースのシンボル、サルノコ



国の登録有形文化財 釜ヶ淵堰堤

シカケの木が強風で倒れたようで見当たりませんでした。谷地鳥兜の鮮やかな青紫色の花が目立っていました。



青紫色のヤチトリカブト (谷地鳥兜)

多田加助の故郷を訪ねて

貞享義民記念館

8月25日(火) 6月の地区ウォーキングで立ち寄った義民塚や加助騒動についてもっと知りたいとの声を受けて、追加講座が開催されました。

途中、義民社に摸して神社風の建屋の中萱駅舎を見学。記念館では、当時のことを詳しく説明していただきました。見学後、加助神社、加助の墓、加助の住宅跡地・熊野神社、



熊倉の渡し等の加助に関連する場所も巡りました。

岳都講座 開講

8月17日(月) 岳都講座が半年ぶりに開講しました。今回のテーマは「外国人登山家」についての学習会になりました。

1860年頃から外国人が登山をする様になり、宗教登山しか知らない日本人に初めて「スポーツ」としての登山を伝えました。

イギリス初代駐日公使のラザフォード・オールコックが1860年(万延1年)富士山に初登頂しました。1870年(明治3年)ウイリアム・ガウランドが大阪造幣局に招聘され来日、1878年に外国人として初めて槍ヶ岳に登頂しました。1881年に『日本旅行案内』で「日本アルプス」と呼ぶのに相応しいと記述し

ました。1888年宣教師として来日したウォルター・ウェストンは1898年に「日本アルプスの登山と探検」をイギリスで出版し「日本アルプス」を世界に広めました。外国人に刺激されて日本人も登山を楽しむようになりました。



七夕飾り

7月6日(月)に文化委員さんにより飾り付けが行われ、松本七夕人形が28体飾られ、笹飾りが2ヶ所設置され、来館者が短冊に願い事を書いて飾っていました。今年は絵手紙の短冊も飾られ賑やかになりました。展示は8月20日迄でした。



松本七夕人形と絵手紙の短冊

白板地区の遺構 ③

白板南の現在のパチンコ店の場所に昭和30年代まで、レンガ造りの高い煙突があつて、白板の目印にもなり、子どもたちの遊び場所になっていました。

大正5年から昭和9年にかけて建設された、「日本大阪アルカリ会社」の工場の煙突で、材木の乾燥場になって一部が残り、倉庫の一棟が白板南公民館として利用されています。

アルカリ時代の建屋で戦後操業していた材木会社が閉じ、昭和49年にパチンコ店(パチンコホームラン)が出店しました。当時はそこに高さ35メートルの太いレンガの煙突があり、店側は当初、「美ヶ原からも見えた」という巨大な煙突に

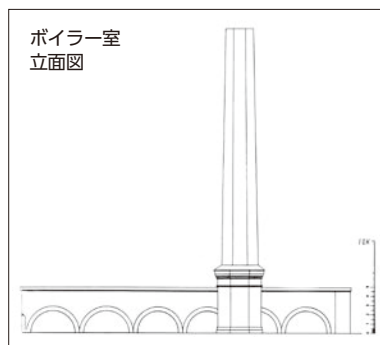


アルカリ工場跡 この上に巨大な煙突がありました



レンガ造りの白板南町会 公民館

ボイラー室
立面図



アルカリ工場のイメージ

ネオンを掲げようとしたが、安全上の問題で断念しました。白板のシンボルは昭和50年ごろ、撤去されました。レンガ造りの白板南公民館は、町会が昭和31年に、競売物件を取得しました。昭和10年ごろの公民館は革のなめし工場で、陸軍のかばんの一種、背嚢を作っていて、戦後は材木会社の事務所兼住宅だったそうです。

コラム 常念通り

【おふくろの味】

毎日食卓に上がるお漬物。季節の野菜の浅漬けや野沢菜漬、たくあん漬けに白菜キムチ、色々な味が美味しい。最近では、簡単においしい漬物ができる素があり便利に使っている。「おいしくお手入れ簡単」と直接野菜を密封できる袋に漬け込むぬか床も人気のようで早速試してみた。まずは、きゅうりと人参のぬか漬け。楽しい。でもお手入れは簡単ではなかった。ずばらな私を映すように味が変わる。

現在3代目のぬか床。やまと家の味に定着してきた。やはり信州人には、お菜漬けとたくあん漬けは欠かせない。

高齢の仲間入りをした母には大変かと、ここ何年か漬け込みは諦めていた。しかし食べたい。代々受け継がれたおふくろの味が懐かしい。

今年は母の手を借りながら、挑戦してみようと思う。

(T・S)

